

令和6年9月1日

お待たせいたしました。私の方から、現在の台風の状態、それから土中の雨量ですね、土の中に水分をかなり含んでますので、その点について。そして避難の方法について3点お話をさせていただきたいと思います。

(資料を提示)

まず、台風の状態ですけれども、今、三重県の南東部の海上で停滞をしているというのが今の状況です。そして、これから東の海上にあります高気圧の影響で、その風の影響を受けて、これから台風は三重県にどんどん近づいてきます。今日の夕刻以降、三重県に再上陸する可能性があります。南から三重県の南から北をずっとなめるように通っていく、これが台風の進路予測であります。そうしますと、南の水蒸気をどんどん三重県に台風が運んできています。反時計回りで。雨がひどく降ってくる可能性があるということでもあります。これにご注意をいただきたいというふうに思います。

(資料を提示)

今回の台風の影響が出始めた25日からの総合計雨量を示しておりますけれども、1週間、今まで1週間でそれぞれの自治体を書いてございますけれども、8月1ヶ月に降る量の何倍がこの1週間で降ったかということでもあります。津ではもう3倍を超えています。桑名、四日市、亀山、松阪、伊勢などなどではもう2倍を超えています。1ヶ月の雨量がたった1週間で降ってしまうということです。それだけの雨が蒸発をせずに土の中に残っているということです。崖崩れ、土砂崩れの可能性が非常に高くなっているということです。県内でも実際に崖崩れ、それから土砂崩れが起きていますので、今後その可能性はますます高くなってきます。それからもう一つ、昨日、国管理の佐奈川で越水、川の水が堤防を越えるということがありました。そして、県管理の堀坂川で護岸が損壊をするということが出てきました。雨の量が増えてくると、川の水はまた増えていきます。今ちょっと落ち着いているように見えますけれども、これはまた増えてくるということです。川の影響ということにも注意をしていただく必要があります。次お願いします。

(資料を提示)

避難です。とにかく台風、物が壊れる、これは出てきます。命を守るというのが何より大事でありますので、避難をお願いしたいと思います。

避難のレベルにつきましては、これは国、内閣府が発表していますが、緊急安全確保、これは昨日、県内でも松阪と大台町で出ています。緊急安全確保が出ましたら、とにかく急いで避難をしないといけないということになります。ただ、緊急安全確保が出ますと、もう周辺は避難できない状況になっていることもあります。その時には、少しでも高い場所、崖から離れた場所、そういった部屋に移るということを心がけていただきたいと思います。

それから、避難指示、高齢者避難というのもあります。今の状況で言いますと、避難指示が出ておりますのは松阪市と大台町、この2市町であります。そして、高齢者等避難が出ておりますのは、鈴鹿市、亀山市、多気町、明和町、南伊勢町、この5つの市、町であります。それ以外でも、特に高齢者避難はすぐに出る可能性があります。情報に注意をしていただきたいと思いますというふうに思います。

私から再度申し上げますけれども、台風で物が壊れることはあります。でも、それを決して見に行ったりということをされないでいただきたいと思います。大事なのは、人の命を守るということです。人命が失われては何にもなりません。幸いなことに、今、県民の皆さんのご協力によりまして、三重県内では亡くなった人命はありません。ただ、今回の台風10号、他県で亡くなっておられる方がおられます。そういったことがないように十分ご注意をいただくということでもあります。県庁では最大の対応をしております。この夕方にも規模を拡大して対策会議を開くようにしておりますけれども、とにかく自分の命は自分で守る、そういう意識を持っていただいて、とにかく避難をするということを心がけていただきたいと思いますというふうに思います。

私からは以上です。